

令和4年度

弥富市立弥富中学校学校経営方針

教育目標

心豊かで自ら学び、心身ともにたくましい生徒の育成をめざす(生きる力の育成)

《校訓》

大和 (たいわ)

誠実

勤勉

明朗

《めざす生徒像》

- 自他の命を尊重し、人間性豊かな生徒
- 深く考え、自ら学び、自己を高める生徒
- 積極的に心身を鍛え、共に生き抜く生徒
- 地域に目を向け、強度を愛する生徒

学校経営方針

弥富市学校教育基本方針

児童生徒の「生きる力」の育成、それを支える学校の教育力の向上を図る

- 知・徳・体のバランスのとれた生きる力、児童生徒の将来に生きる力
- 児童生徒の成長を支える環境整備、信頼と魅力ある学校づくりの推進



<行動指針>

何ができるようになるか

「当たり前前」の事を当たり前前

- ・ 当たり前のことが当たり前前できるように指導の継続・徹底を図ろう
- ・ 厳しさと温かさの指導に心がけよう

「不易と流行を見極めて」

- ・ 弥富中に流れる教育の伝統を大切にしよう
- ・ 「時を守り、場を清め、礼を正す」等、基本的な生活習慣の徹底に努めよう
- ・ 新しい教育の方向をさぐり、その実現に努めよう

「一人一人を大切に」

- ・ 子どもの目線に立って、師弟同行の姿勢で子どもに接しよう
- ・ 子どものもつ個性を大切に、一人の人間として認めよう

「個の力を結集したチーム力を」

- ・ 少経験者を育てる場を意図的に設定し、“教師力の伝承”をすすめよう
- ・ 互いの長所短所を補完し合える教師集団をめざそう

「地域とともに」

- ・ 家族、地域と一体となって子育てを進めよう
- ・ 地域に信頼され、開かれた学校づくりを進めよう
- ・ 明日の弥富、未来の創り手を育てよう

何を学ぶか

どのように学ぶか

本年度の重点努力目標

確かな学力の育成

- (1) 研修、研究を深め、魅力ある分かる授業の追究
 - ・ 授業研究を通し、指導法、教材研究等の実践研究に取り組み、生徒の学力の向上を図る。
 - ・ 「ともに高め合う」場をすべての教科で設定し、実践研究する。
 - ・ 家庭学習の習慣化、定着化を図る。
- (2) 個に応じた指導の推進
 - ・ ティームティーチングや少人数指導を取り入れ、基礎基本の定着を図る。
 - ・ 必要に応じて個別指導の場を設定する。

豊かな心の育成

- (3) 道徳教育の充実
 - ・ 多様な価値に気付き、仲間と学び合うことで、よりよく生きる生徒を育成する。
 - ・ 道徳教育を教育活動の柱に据え、全校で取り組む。
- (4) 個を大切にした指導の充実
 - ・ 特別支援教育の視点をすべての場面に取り入れ、一人一人に寄り添う。
 - ・ 支援を要する生徒への手立てや関係機関との連携を図る。
- (5) 生徒指導の充実
 - ・ 基本的生活習慣の育成（あいさつ、掃除、人助け）と相談活動の充実を図る。
 - ・ 自己肯定感を育み、自他の命を大切に作る心を育てる。
 - ・ 情報を共有化することで生徒理解を深め、子どもたちの発する小さなサインを見逃さないよう心がける。

健康な心身の育成

- (6) 防災を含めた安全指導の充実
 - ・ 地域の特性を考慮した避難訓練などを通し、社会に貢献できる人材を育成する。
- (7) キャリア教育の充実
 - ・ 体験や見学等の学習を通し、自己の生き方や可能性を考えることができる生徒を育成する。
- (8) 自主的で自治的な生徒の育成
 - ・ 生徒会活動やさまざまな行事、部活動などを充実させ、集団生活における規律と温かい人間関係の育成を図る。

信頼される学校づくり

- (9) 安心、安全な居場所づくり
 - ・ 学校が子どもたちにとって安心な場所であるよう、ハード・ソフト両面の充実を図る。
- (10) 開かれた学校づくり
 - ・ 積極的に情報を発信し、地域に愛される学校をつくる。
 - ・ 学校評価の実施及び分析を通して、開かれた学校をつくる。

働きやすい職場づくり

- (11) 心身の健康保持
 - ・ 衛生推進者をおき、学校職員の心身の健康に努める。
 - ・ 勤務時間の適正な管理に努め、定時退校日等の有効活用により心身の健康の保持に努める
- (12) 業務改善の推進
 - ・ 行事や諸会議を精選する。
 - ・ 学校内外の専門スタッフや関係機関との連携を深め、教職員の負担を軽減する。